

看護部通信

～回復期病棟で大切にしていること～

第2病棟では、「ナラティブ看護」を大切にしています。

ナラティブとは「物語」という意味です。
私たちは、病気やケガだけを看るのではなく、患者さん一人ひとりのこれまでの歩みや大切にしてきたこと、そしてこれからの暮らしへの思いに、ゆっくりと耳を傾けます。今までの暮らしや役割、大切にしてきたことについてお話していただき、その方の物語を共有できたらと思います。



回復期は、心と体の両方を整えていく大切な時間です。

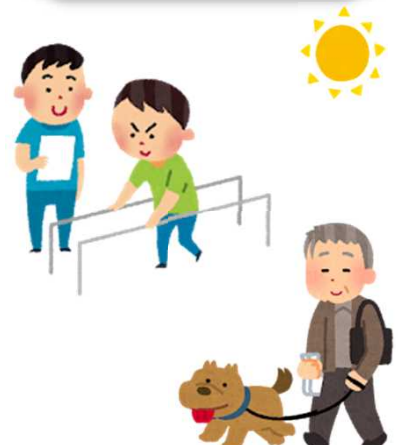
患者さんやご家族の方からの、「どんな毎日を取り戻したいか?」「どんな暮らしを大切にしたいか?」などの声を細かく聞きながら、一緒にこれからの暮らしについて考えていきます。



それぞれの「やりたいこと」
「歩きたい」「食べたい」「トイレにいきたい」
「お風呂に入りたい」など、生活の動作を取り戻すことや、
「庭の花の手入れをしたい」「もう一度畑をしたい」
「毎日、通っていた温泉に入りたい」
「車を運転して、仕事に復帰したい」
「孫の結婚式に参列したい」

などなど

目標に掲げていきます。



私たちは、リハビリや治療を支えるだけでなく、その方らしい生活へとつながるよう一つ一つ、そばで見守り、患者さんやご家族の思いに寄り添いながら、安心して「その人らしい毎日」へ戻れるよう支援していきます。